



## 大和証券株式会社 高崎支店

### ESG投資で サステナビリティの 取組を応援する



高崎市

住所 高崎市八島町58-1  
TEL 027-327-7111  
URL <https://www.daiwa.jp/>  
代表者 押上 剛人 (高崎支店長)  
設立 1999年4月26日  
資本金 2,473億円  
従業員 14,889人

WEBサイト



### 企業紹介

当社グループでは、公正で活力ある金融・資本市場を維持・発展させていくことに加え、金融に社会的な視点を組み込むことで、持続可能な社会の実現に貢献していきたいと考えています。有価証券投資に際し財務情報のみならず環境面や社会面の取組等、ESG要素も評価に加味する投資手法を推進しています。

今後もグリーンボンドをはじめSDGs債の引受け・販売、ESGファンドの販売等事業活動を通じ、社会課題の解決に向けて貢献していきます。

### 経緯・背景

この数年、サステナビリティへの取組が世界的に広がってきたことで、関連する債券市場の拡大とともにお客様のサステナビリティへの関心も高まっています。当社は日本におけるSDGs債（従来のインパクト・インベストメント債券を含む）のパイオニアとして、公的機関や金融機関等が社会課題の解決を目的に発行する債券に、お客様が投資する機会を提供しています。またESGファンドへ投資することで、金融市場を通じてサステナビリティの取組に積極的な国や企業などを間接的に応援することができます。

## 資金循環の仕組みづくりを通じたSDGsの実現に取り組む

### 具体的な取組・成果

社会問題の解決、未来の社会および金融・資本市場の発展のために取り組んでいます。

#### ●個人投資家向けSDGs債

◇SDGs債の販売について、以下一部例をご紹介します。  
イオンモール（サステナビリティ・リンク・ボンド）、山口フィナンシャル・グループ（グリーンボンド）、日本ハム（サステナビリティボンド）  
2008年3月～2023年3月までの大和証券累計販売額は8,419億円であり、国内市場における大和証券のシェアは40%です。

#### ●ESGファンド

ESGファンドとは、サステナブルな社会への移行に向けESGやSDGs目標達成などに取り組む企業への投資など、ESGを投資対象選定の主要な要素としており、その内容に関する開示が可能である投資信託です。

これらに投資することで、金融市場を通じてサステナビリティの取組に積極的な国や企業などを間接的に応援することができます。

当社では、多様なお客様のニーズに応える商品ラインアップを拡充しています。

また当社グループは、証券ビジネスを通じて培ってきた金融経済分野の知識やノウハウを生かし、様々な世代に対して、金融経済教育を通じて将来を切り拓く力や資産管理スキルを身につけてもらうことを目的とした教育プログラムの提供および支援活動などを行っています。2005年からは公益社団法人 ジュニア・アチーブメント日本が提供するファイナンス・パークに協力しています。



小学校での出張授業

このプログラムでは、中学生を対象に、生活するうえで必要な金融や経済の仕組みを学ぶ機会を提供しています。（県内では、群馬大学共同教育学部附属中学校2年生を対象に実施）

そのほか、ぐんまマラソンへの協賛及び参加、群馬イノベーションアワードへの協賛、ぐんまプログラミングアワードへの協賛、高崎雷舞フェスティバルへの協賛など地域イベントへ積極的に参加をしています。



2021/11/10 上毛新聞掲載

### 当社にとってのSDGsビジョン

当社グループでは、2018年に「Passion for SDGs～大和証券グループSDGs宣言～」を公表しました。SDGsを、世界をけん引する重要な目標と捉え、グループビジネスを通じ、企業の経済的価値の追求と社会的課題の解決を両立することで、サステナブルな社会の実現に積極的に取り組んでいます。

### 今後の展望と求めるパートナー像

当社グループでは、SDGsの達成期限でもある2030年に向けて、当社グループの目指すべき姿を「2030Vision」として策定しました。「2030Vision」では、「貯蓄からSDGsへ」をコアコンセプトに、“資金循環の仕組みづくりを通じたSDGsの実現”に取り組んでいます。